

事前評価チェックシート

計画の名称： 大間町における循環のみちの実現（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 事業計画面積123haのうち、令和6年度末で約106haが整備され、引き続き整備促進を図ることとしており、上位計画との整合性はとれている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした整備計画の目標をたてている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 定量的指標は当町の普及状況を的確に捉えており、未普及解消に適した指標である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 事業内容は下水道整備に係る事業としており、計画の目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 基幹事業の管渠と末端管渠（単独管）を一体的に整備することにより、より一層の未普及解消を図ることができる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 住民に事業説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

1) 合併浄化槽事業と連携し、町全体の汚水処理施設整備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指すこととしている。

○